

BRIDGE LIVE IP 簡易セットアップガイド

2026年7月1日
ヒビノプロビジョン株式会社

本マニュアルは初めてBRIDGE LIVE IPの取扱いを行う事を想定し作成しています。
取扱い前にご確認の上、ご準備をお願いいたします。
ST2110のワークフロー構築時には、BRIDGE LIVE IP以外に以下要素が必要となります。

- ・ ネットワークスイッチ（PTP対応）
- ・ PTP Generator

主要機能

- **入出力:** ST2110 (20/30/40)、IP（SRT/NDI/RTMP（S））
 - 拠点間もしくはクラウドへの素材伝送、CDNへの伝送等
- **エンコーダ:**
 - **プロトコル:** SRT, UDP,HLS、RTP,RTMP/S（出力）
MPEG-TS,RTMP,NDI,HLS（入力）
 - **ビデオコーデック:** H264, H265
JPEG XS（TR-07）* ,JPEG2000*（* 要オプション）
 - **オーディオエンコーダ:** AAC, AES (非圧縮), AC3
- **NMOS IS04 v1.2,1.3/ 05**
- **PTP SMPTE-2059-2**

ワークフロー例

- ・ リモートプロダクション
- ・ コンテンツのコントリビューション
- ・ ライブイベントの配信
- ・ OTT向けにABRラダープロファイル付きで受け渡し

同梱物

BRIDGE LIVE IPには、以下が同梱されています。

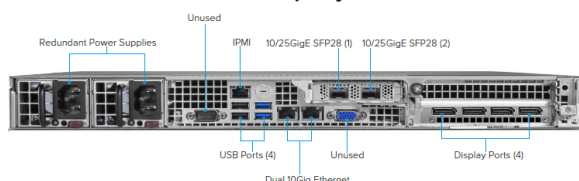
- ・ BRIDGE LIVE 本体
- ・ 電源ケーブル x 2本

<ご留意点>

- ・ キーボード/マウス（初期設定用）、ディスプレイ表示用のモニター/ケーブルはお客様にてご用意をお願いいたします。
- ・ ST2110環境の構築にはBRIDGE LIVE IP以外に以下がご準備が必要となります。
 - ・ Grand Master（PTP出力用）
 - ・ PTP対応ネットワークスイッチ

物理配線

本体とモニター（DisplayPort）、キーボード、マウスの接続をお願い



動作環境

- 温度：5 ～35 °C
- 湿度：80～90% 結露なき事

＊ST2110環境の構築にはBridgeLiveIP以外に以下がご準備が必要となります。

- Grand Master（PTP出力用）
- PTP対応ネットワークスイッチ

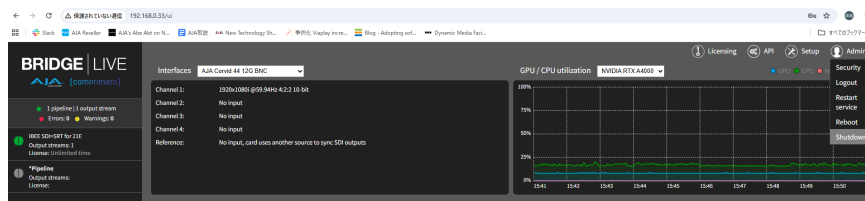
起動

前面右上の物理電源ボタン押下にて起動します。



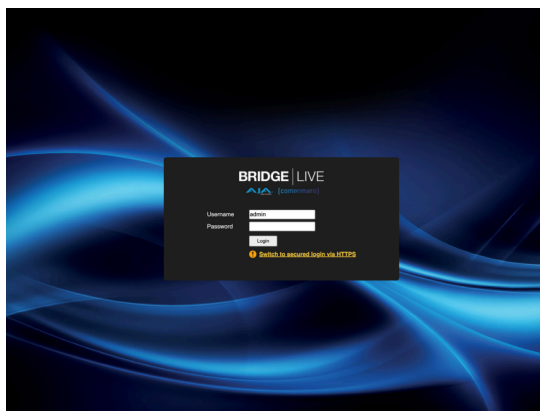
シャットダウン・リブート操作

画面右上、Adminをクリック、Shutdown/Rebootをクリックします。



初期ログイン

起動後、ディスプレイ上に以下画面が表示されます。

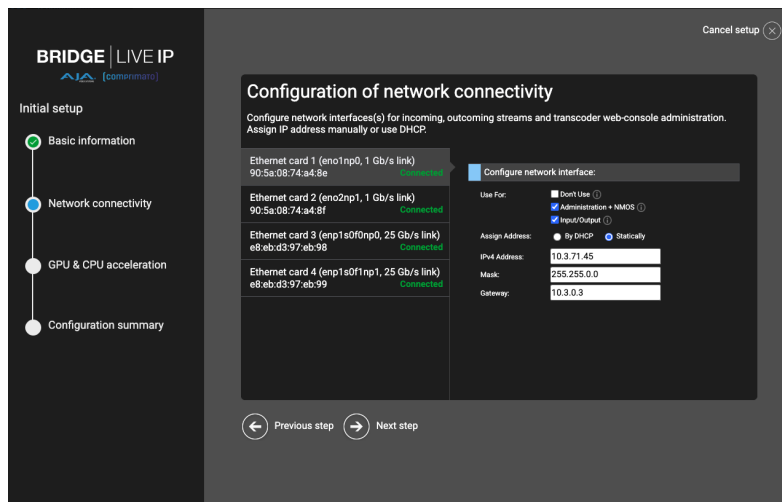


キーボード（マウス）で以下情報の入力をお願いします。

- username xxxx
- PW xxxx

初期セットアップ

画面右上Setupをクリックすると以下IPアドレスを設定する画面に推移します。
4つのLANポートの役割を設定します。



- **Administration + NMOS**

当該ポートを操作GUIの表示及びNMOS制御用のポートとして利用する際に選択します。その後、**Statically**を選択後、IPアドレスの設定を行なうと当該IPアドレスでウェブGUIより詳細設定が可能となります

- **Input/Output**

ストリームの入出力で利用する際に選択します

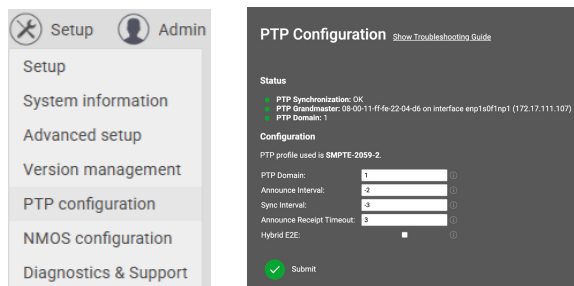
- **Don't use**

ポートを利用しない時に選択します

【ご留意点】 Administrationが2つのポートに設定されないようご留意下さい。

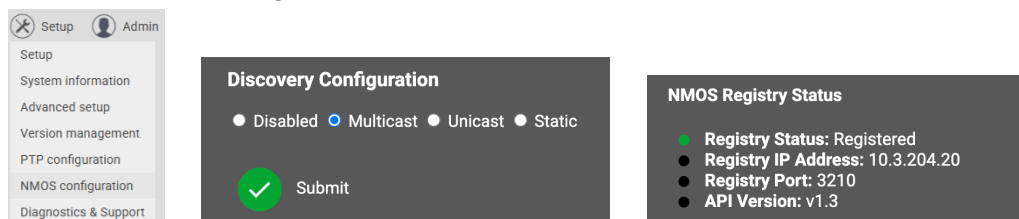
PTP設定

Setup> PTP Configuration箇所より設定します。



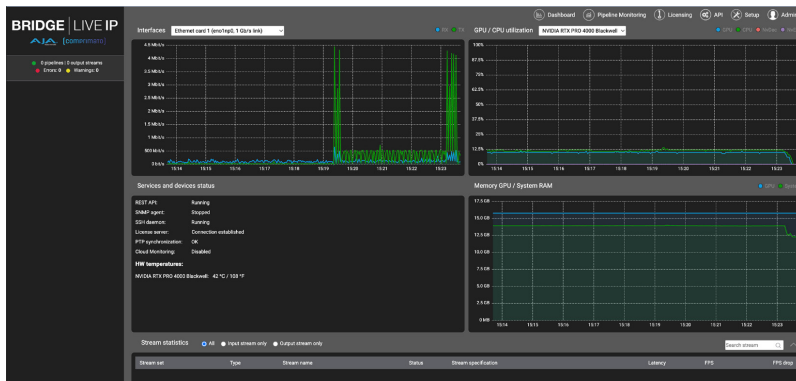
NMOS設定

Setup> NMOS Configuration箇所より設定します。



モニタリング画面

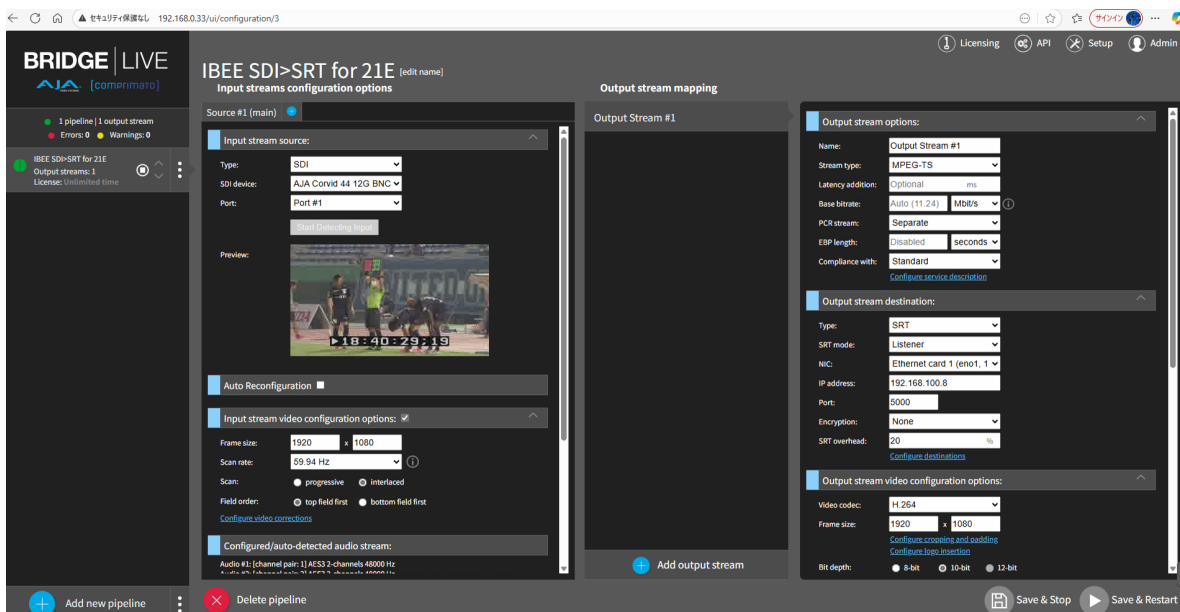
以下画面にて各ネットワークインターフェースの状態確認、GPU/CPU使用率メモリ/システムRAM使用率の確認が可能です。画面下部では内部処理の遅延量の確認が可能です。



【TIPS】 フレーム落ちが高い頻度で発生する際
CPU/GPUの使用率が100%近くで推移していないかご確認をお願いします。

設定画面

画面左下+ボタンを押下、Pipeline作成を開始します。



入力ソースを画面左側（Input streams configuration options）

出力フィールドを画面右側（Output stream mapping）で設定します。

■Video設定

Input streams configuration options

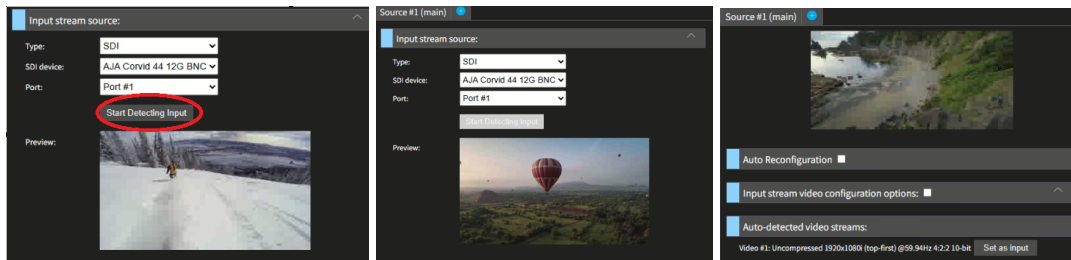
- Typeよりソースの種別を選択します（ST2110,SRT,NDI等）
- Start Detecting Input釦を押下

Start Detecting Input

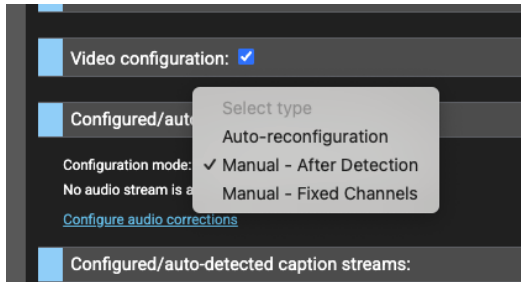
- ソースの割り当てを行ないます（NMOS、Ember+等で）

【TIPS】 Input stream source設定方法

- Start Detecting Inputボタンを押下すると、入力ソースを検知します。



- その後、Set as input 釦を押下するとソースの設定が反映されます。



■Audio

入カストリームを検知が可能です

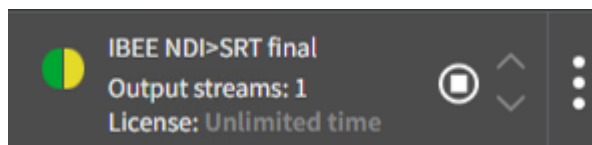
SRT設定

【SRT送受信の要件】

送信側と受信側でIPアドレス/ホスト名について名前解決できる事が要件となります。
 トラブル回避の為、デモ・検証実施前にご確認をお願いいたします。

<備考>

以下はSRTの受信先が適切にストリームを受信できていない際の表示例となります。



Input stream source欄

以下設定を行ないます。

SRT modeでCaller / Listner、IP address、Port、SRT Buffer（デフォルト値：240）
 その後、Start Detecting Input 釦を押下するとソースを検知され、
 Set as Input 釦を押下するとソースの設定が自動的に反映されます。

Source #1 (main) +

Input stream source:

Type: MPEG-TS over SRT

SRT mode: Caller

NIC: Ethernet card 2 (eno2, 1)

IP address: 192.168.0.99

Port: 5050

Stream ID: Enter Stream ID (optional)

Encryption: None

SRT latency: 240 ms

SRT redundancy (optional):

NIC: Select interface

IP address: Enter IP address

Port: Enter port

Start Detecting Input

Video configuration: ✓

Auto-reconfiguration: ☐

Video codec: H.264

Frame size: 1920 x 1080

Bit depth: ☐ 8-bit ☒ 10-bit ☐ 12-bit

Color sampling: ☐ 4:2:0 ☒ 4:2:2 ☐ 4:4:4

Scan rate: 59.94 Hz

Scan: ☐ progressive ☒ interlaced

Field order: ☒ top field first ☐ bottom field first

Input video PID: Auto-detect

[Configure video corrections](#)

Auto-detected video streams:

Video #1: [oid: 102] H.264 1920x1080 [top-first] @59.94Hz 4:2:2 10-bit **Set as input**

NDI設定

BRIDGE LIVEで検知されたNDIストリームを選択します。

画面右箇所（Output stream configurations）で出力ストリームの設定を行ないます。

BRIDGE LIVE (connection)

Pipeline (not saved)

Input stream configurations

Source #1 (main)

Input stream source:

Type: SRT

SRT mode: Caller

NIC: Ethernet card 2 (eno2, 1)

IP address: 192.168.0.99

Port: 5050

Stream ID: Enter Stream ID (optional)

Encryption: None

SRT latency: 240 ms

SRT redundancy (optional):

NIC: Select interface

IP address: Enter IP address

Port: Enter port

Start Detecting Input

Video configuration: ✓

Auto-reconfiguration: ☐

Video codec: H.264

Frame size: 1920 x 1080

Bit depth: ☐ 8-bit ☒ 10-bit ☐ 12-bit

Color sampling: ☐ 4:2:0 ☒ 4:2:2 ☐ 4:4:4

Scan rate: 59.94 Hz

Scan: ☐ progressive ☒ interlaced

Field order: ☒ top field first ☐ bottom field first

Input video PID: Auto-detect

[Configure video corrections](#)

Auto-detected video streams:

Video #1: [oid: 102] H.264 1920x1080 [top-first] @59.94Hz 4:2:2 10-bit **Set as input**

Output stream configurations

Output Stream #1

Output stream source:

Type: SRT

SRT mode: Caller

NIC: Ethernet card 2 (eno2, 1)

IP address: 192.168.0.99

Port: 5050

Stream ID: Enter Stream ID (optional)

Encryption: None

SRT latency: 240 ms

SRT redundancy (optional):

NIC: Select interface

IP address: Enter IP address

Port: Enter port

Start Detecting Input

Video configuration: ✓

Auto-reconfiguration: ☐

Video codec: H.264

Frame size: 1920 x 1080

Bit depth: ☐ 8-bit ☒ 10-bit ☐ 12-bit

Color sampling: ☐ 4:2:0 ☒ 4:2:2 ☐ 4:4:4

Scan rate: 59.94 Hz

Scan: ☐ progressive ☒ interlaced

Field order: ☒ top field first ☐ bottom field first

Input video PID: Auto-detect

[Configure video corrections](#)

Auto-detected video streams:

Video #1: [oid: 102] H.264 1920x1080 [top-first] @59.94Hz 4:2:2 10-bit **Set as input**

Source IPとDestination IPを設定します。

Stream destinations:

Primary RTP Enabled: ☒

Source IP: 172.16.111.107 enp1s0f0n

Source Port: 15004

Destination IP: 239.0.0.1

Destination Port: 5004

Redundant RTP Enabled: ☒

Source IP: 172.17.111.107 enp1s0f1n

Source Port: 15005

Destination IP: 239.0.0.1

Destination Port: 5005

Video (-20) ,Audio (-30) ,Metadeta (-40) それぞれのPipelineを作成します。

Output Stream options :

Stream type欄より適切なフォーマットを選択します。

NEW Latency addition欄より必要に応じ、Latencyの付加が可能となりました（v1.18～）

Stream destinations:

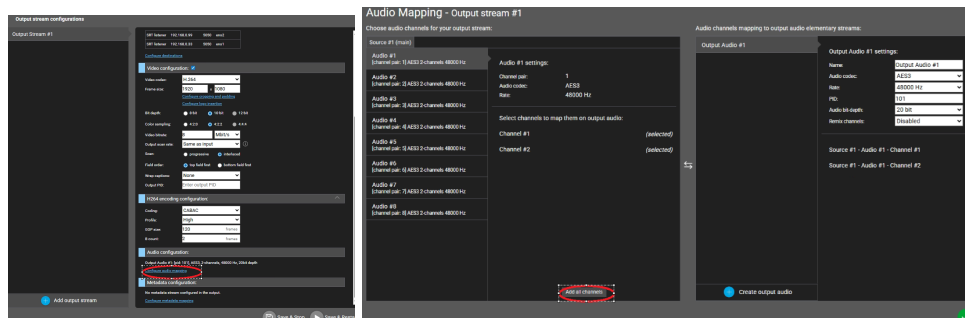
Configure destinations箇所を押下、以下画面で必要設定を反映後、**Enableにチェックが入るとデコード処理が開始されます。Enableにチェックが入っている事をご確認下さい。**

video configuration options

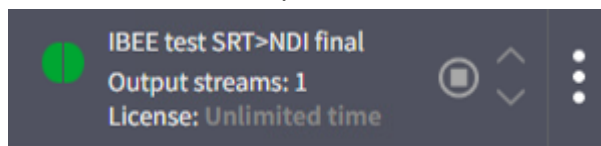
Video Codec, Frame size, bit depth, colorsampling, Video bitrate, Output scan rate, Scan, Field order等、必要設定を行ないます。

<Audio設定>

Output stream audio Configuration option箇所、Configure audio mapping をクリック、以下Audio Mapping画面で設定を行ないます。



設定完了後、画面右下Save & Restartボタンを押下Pipelineを起動します。設定が正常な場合、Pipelineが黄緑色に変わります。



設定に異常がある場合、エラー箇所が赤表示されます。エラー内容のご確認をお願いします。

BRIDGE LIVE
comparto

IBEE SDI>SRT for 21E [edit name]
Input streams configuration options

Source #1 (main)

Source 'in SDI device #1 port #1' is already used.

Input stream source:

Type: SDI

SDI device: AJA Corvid 44 12G BNC

Port: Port #1

Preview: N/A - (re)start pipeline

Auto Reconfiguration

Pipeline #1 [edit name] Failed to validate pipeline.

Input stream configurations

Source #1 (main)

Input video must be specified if output video is enabled.

Input stream source:

Type: MPEG-TS over SRT

SRT mode: Listener

NIC: Ethernet card 1 (eno1, 1)

IP address: 192.168.0.33

Port: 5000

Encryption: None

SRT latency: 240 ms

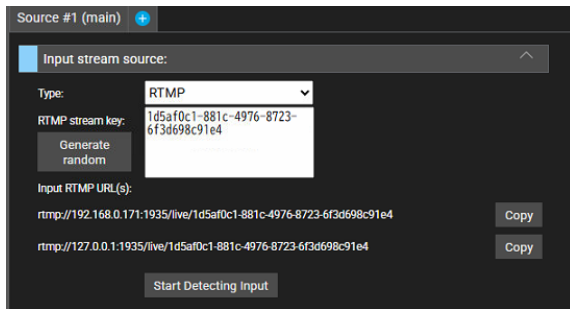
NEW Pipelineが正常に起動できない際のエラー表示を改善しました (v1.18~)

出力設定を変更すると原則Pipelineの再起動が必要でした (～1.18)

NEW Outputstream optionでSRT・TS設定時、各種設定を追加・変更に伴うPipelineの再起動不要となりました。 (v1.18~)

RTMP(S)設定

- RTMP入力



1. Generate random 釦を押下します。
2. その後、COPY 釦を押下し RTMP の URL + ストリームキーを COPY します。
3. 当該の情報を RTMP 送信元に設定する事で RTMP での送受信が可能となります。

●RTPM (S) 出力

Youtube 配信を例にしたご説明は BRIDGE LIVE マニュアル Chapter5 Interoprability に記載されていますのでご参照下さい。Youtube を想定した奨励設定については以下ご参考下さい。
<https://support.google.com/youtube/answer/2853702>

BRIDGE LIVE よくあるお問い合わせ例 (新規導入時):

1. 「Auto Reconfiguration」が有効: 入力信号形式の変更時に自動で調整を試みる機能です。オーディオマッピングがロックされたり、不適切なルーティングになることがあります

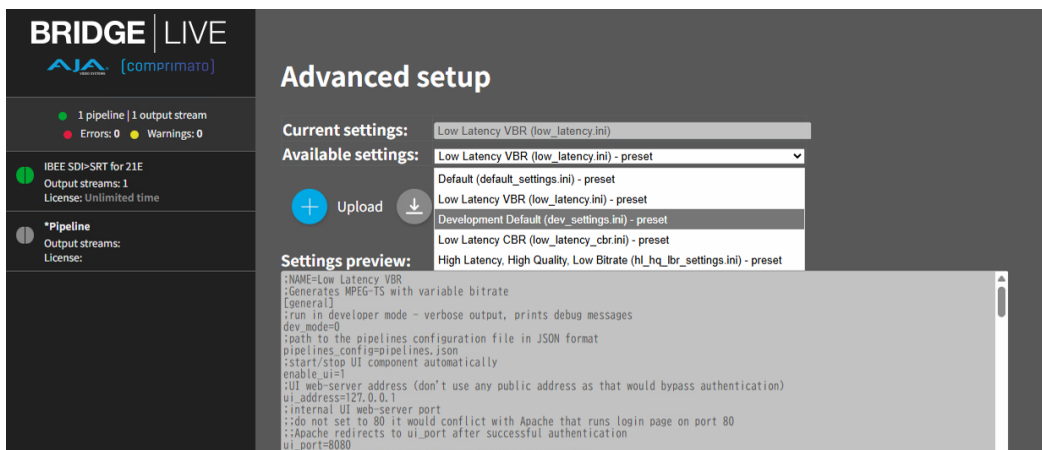


2. ネットワーク設定の誤り: 物理的に切断されている NIC が DHCP に設定されているとエラーが発生します。「Don't use」に設定することで解決します。

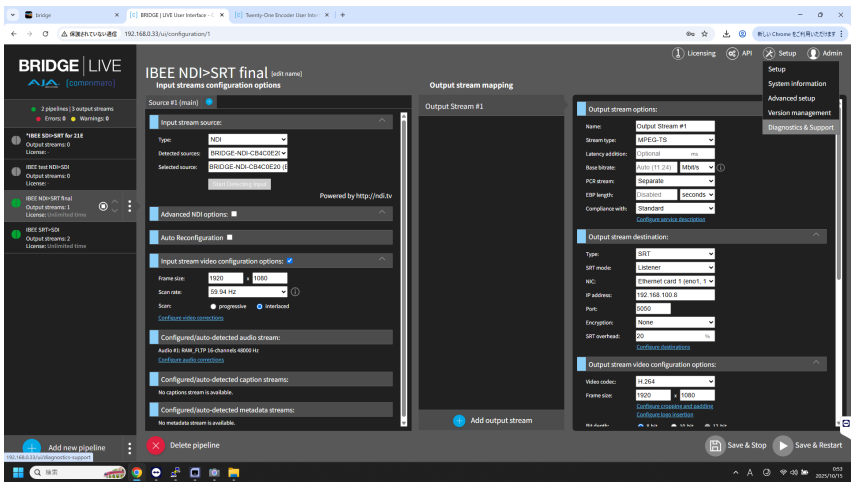
詳細設定 (Advanced setup)

エンコーダーパラメータを微調整できるテキストベースの設定ファイルです。

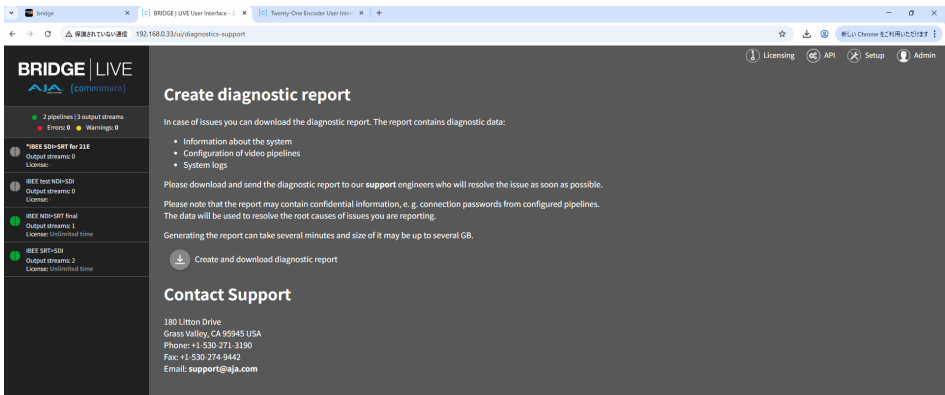
組み込みプリセット: Default, Low Latency VBR, Low Latency CBR, High Latency, High Quality, Low Bitrate より選択が可能です。新たに設定を適用するには、BRIDGE LIVE ソフトウェアの再起動が必要です。



■有事の際の対応



画面右上、Diagnostic & Supportをクリックすると、以下の画面に推移します。
Create and download diagnostic reportをクリック、生成されたファイルを
以下問い合わせ先にお送り下さい。



改定履歴

2026年6月8日	初版発行